



令和7年1月31日  
みどり幼稚園



保育目標(2月)

- \*冬の自然事象に関心をもち、遊びにとり入れて楽しむ。
- \*節分の意味を知り、鬼のイメージをふくらませながら製作し豆まきを楽しむ。
- \*友だちとのつながりを深めながら、クラス全体での活動に取り組む。

2月の園行事

- ★印は親子参加行事です。
- ◎印は未就園児対象行事です。
- ◆印は親子自由参加行事です。



月	火	水	木	金	土
					1
					預かり保育
3	4	5	6	7	8
節分合同集会	★保育参観 懇談会 (年中組) (年長組)	★保育参観 懇談会 (ふたば組) (年少組) ★グレープシード 英語教室説明会 (年少組)	英語教室 (年長組)	サッカー教室 (年長組)	休園
10	11	12	13	14	15
	建国記念の日 (休園)	体操教室 (年長組)	◎びよちゃん クラブ  英語教室 (年中組)	合同学習会 (年長組) サッカー教室 (年中組) 図書整理 (ふたば・年少組)	預かり保育
17	18	19	20	21	22
◆グレープシード 英語教室 自由参観日 (年中・年長組)	◆えんぶり鑑賞	◆グレープシード 英語教室 自由参観日 (年中・年長組)	ミニオペレッタ 鑑賞 (年中・長組)	◎入園者説明会 用品販売 (13:50 帰リ 給食・預かり保育 あります)	休園
24	25	26	27	28	
振替休日	不審者避難訓練	体操教室 (年中組)	◎びよちゃん クラブ 英語教室 (年長組)		

冬の朝日を浴びながら、暖かそうな帽子や手袋を身につけて子どもたちが、みな、元気に登園してきます。

実は、新学期が始まって以来、子どもたちの欠席ゼロの日がなんと10日以上続きました。この時期にしてはとても珍しく、1年間、健康でありますようにとみんなでいただいたお餅の効果が早くも現れたのかもしれない。

1月は餅つき、お店やさんごっこ子どもたちが楽しみにしていた行事が続きました。年長組のお父さん方のご協力が得られ、つきたてのお餅をほおぼる子どもたちの笑顔がとてかわいらしかったです。

さらに2月に入ると春を迎える行事が続きます。

豆まきでは恒例となったお父さん鬼の登場です。1月に引き続きお父さん方のご協力に感謝申し上げます。

また、18日には春を呼ぶえんぶりの鑑賞会もあります。今年も塩町えんぶり組の皆さんが、全ての演目を披露します。どうぞ、お子さんと一緒にえんぶりを鑑賞してくださいませようご案内申し上げます。

「かがやき」について

毎年、2月に「かがやき」という小さなカードをお渡しし、半分は保護者の皆様に半分は担任教諭にお子さんの成長の様子を記入していただいております。自分自身の子育てを振り返ってみると、ああなってほしい、こうなってほしいという思いのためなのかあまり、子どもの成長に気づけていないことが多かったように思います。どんな小さな成長でも気づいて喜ぶことがさらにお子さんの成長をささえることになると今は思っています。(日本の子どもたちは「自分のことを好きですか」という質問に「はい」と答える割合が世界の中ではとても低いようです。) お子さんの成長を喜ぶあたたかなメッセージをぜひお願いしたいと思います。

ご招待いただいています。

☆年長組は柏崎小学校の1年生の教室で学習体験をします。いよいよ小学校入学への期待がわきますね。

☆年中・年長組は八戸学院短期大学の学生さんによるミニオペレッタに招待されています。会場は八戸文化ホール。園バスで行きます。

園長 正部家 朱美



# 令和5年度 自己評価報告書

令和6年4月5日  
学校法人正栄学園 みどり幼稚園

## 1. 本園の教育目標

- ・明るく元気な子
- ・友達と仲良く遊べる子
- ・思いやりのあるやさしい子
- ・最後までやりとげる子

## 2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- 「生活する力」「関わる力」「学びに向かう力」の3つの柱のもとに子どもの姿を踏まえた保育者の関わり・環境構成を考え、実践する。

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	特別な支援を必要とする子どものための園内の支援体制	B	保護者や施設関係者と面談や見学を通して子どもについての情報交換を行うことができた。 個別の支援計画を作成して園内での共通理解はできたが、どんな関わりが有効であったかなど具体的な話し合いも今後は必要となってくると考える。
2	教育の質のための研修の充実を図る	A	自ら研修したいことを積極的に学び、日々の保育に生かそうとする姿勢があった。園内研修は外部研修の報告が主だったため、お互いに意見を出し合える研修となるよう工夫していきたい。
3	子どもの主体性を伸ばす保育を目指す	B	運動会、音楽会の環境（会場）の変化にともなって行事の内容等工夫して行うことができた。 今後は子どもたちの主体性をより伸ばしていくという視点で遊びや行事の持ち方の環境作りを工夫していきたい。

評価（A・・・十分に成果があった B・・・成果があった C・・・少し成果があった D・・・成果がなかった）

## 4. 総合的な評価結果

評価	理由
B	3つの評価項目はそれぞれ具体的な方法で取り組み成果が認められた。また、新たな課題も見いだされ、全体として次のステップへ進もうとする意見もあった。行事等については工夫して行うことができた。

## 5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	園内研修の充実	特別な支援の必要な子どもたちについての話し合いも含め、短時間でも教員が意見交換し研修できる工夫をする。
2	主体的な遊びの環境を工夫する	自由遊びの時間など、子どもたちの遊びがより主体的に発展していくものとなるよう環境の設定を工夫する
3	からだを動かす遊びの工夫	意図的にからだを動かす時間を作り、体幹を鍛えるようにし正しい姿勢を保てるようにする。


## 6. 学校関係者評価委員会の評価

- (1) 特別な支援の必要なお子さんへの配慮は園で十分研修し受け入れ体制を整えていると思われる。支援の必要なお子さんの保護者への関わりについても、今後は大事になっていくのかと思う。
- (2) 園での子どもの様子を知りたくなる親の気持ちはよく理解できるので、園バス利用のため、あまり園に来ることのない保護者に対しては、特に連絡帳などを通して子どもの様子を伝えてもらえると安心できるのではないかと思う。
- (3) コロナ禍で途切れていた行事も行えるようになり、行事を通して子どもたちや父母との交流がもてるようになってきている。


## 令和5年度の教育や運営に対する保護者アンケートのまとめ

令和6年3月8日

みどり幼稚園

幼稚園評価アンケートにご協力くださりましてありがとうございました。集計の結果が  
出ましたのでお知らせします。全保護者のべ38名の皆様からご回答いただくことができ  
ましたこと感謝申し上げます。今回のアンケートの集計は自分率ではなく実数そのものを  
表示しました。A（そう思う）B（そう思うことが多い）の合計が38名の項目は ,  
A、B合わせて34名以上は◎、30名以上を○として表示しております。

○ 昨年と同じ  は8、9、16、18、23の項目です。

○ 新たについた  は3、4、5、10、22の項目です。

○ 14項目の身近な人へのあいさつは昨年より下がり△となりました。家族内ではよくあいさつがさ  
れているようですので身近な人たちにも少しずつ言えるように見守りたいと思います。

○ また、少数ではありますが、C、Dの評価も大事な評価ととらえて真摯に向き合ってまいりたいと  
思います。

在籍者数 38名

回答者数 38名

(人)

	評価項目	A	B	C	D	
1	子どもは幼稚園に行くのを楽しみにしている	28	7	3	0	◎
2	子どもは安心して自分の思いを出し、元気に遊んでいる	28	9	1	0	◎
3	友達と一緒に遊んだり友達の遊びに刺激を受けたりして、共に過ごすことの 楽しさを味わっている	33	5	0	0	
4	遊びや集団生活に必要なきまりを知り、守ろうとする態度が育ってきている	25	13	0	0	
5	様々な物事に興味関心を示し、知的好奇心や思考力、感動する心などが育って きている	30	8	0	0	
6	自ら遊びを作り出す楽しさを味わい、幼稚園生活を楽んでいる	28	9	1	0	◎
7	子どもは遊びの楽しさを味わい、自信をもって行動できるようになってきた	24	12	2	0	◎
8	集団の中で、話をよく聞いたり、考えたり、互いに力を生かし合いながら、共 に学び合う様子が見られた(年長組のみ)	7	2	0	0	
9	自分の力で考えたり工夫しながら、あきらめずにやり遂げる達成感を味わって いる(年長組のみ)	6	3	0	0	
10	学級の中で幼児一人一人が大切にされている	31	7	0	0	
11	人に対する信頼感や思いやりの気持ち、自己抑制力などが育ってきている	19	15	4	0	◎
12	自分でできることは自分でしようとしている	21	13	4	0	◎
13	子どもは家族に、よくあいさつをしている	19	17	2	0	◎
14	子どもは身近な人や、教職員によくあいさつをしている。	14	11	11	2	△
15	子どもはしっかり体を動かし、体力が向上したり、たくましが育ったりして きている	24	11	1	2	◎
16	経験したことや考えたことなどを言葉で伝えて楽しんでいる	27	11	0	0	
17	生命を尊重する心や自然を大切にすることが育つような取り組みがされていた	24	13	0	1	◎
18	幼稚園は、地震・津波・火災・不審者などに対する防災に取り組んでいる	34	4	0	0	
19	幼稚園は一人一人の幼児の育ちを保護者に伝えている	26	11	0	1	◎
20	幼稚園は保護者が様々な幼児と関わる機会をつくり、幼児の発達などに気づく 機会をつくっている	30	7	0	1	◎
21	幼稚園は、保護者からの相談などに対して誠実に対応している	33	4	0	1	◎
22	教育方針や教育目標は、幼児や家庭・地域の実態にあったものだと思う	30	8	0	0	
23	幼稚園は教育目標や月ごとの活動について園便りやクラス便りで分かりやすく 伝えている	35	3	0	0	